



目指す生徒像 ～本気 勇気 元気 根気～

家庭訪問ではお世話になりました

4月20日（金）から5月2日（水）まで延べ5日間の家庭訪問では、大変にお世話になりました。新聞やテレビでは、いじめ問題、LINEをはじめとするSNSの問題等、学校だけでは対応が難しい事柄がニュースとして報道されています。本校でもいくつかの問題が生じております。そんな中、年度初めのお忙しい時に、学級担任が各家庭を訪問し保護者の方々と顔合わせをさせていただきただけでなく、いろいろな共有すべき情報を教えていただきまして、本当にありがとうございました。各担任ともに、「保護者の方とお話ができてよかった、生徒が家庭でどのように生活しているかがわかった、保護者の方の悩みがわかった。」等、この家庭訪問が価値あるものであったと話しておりました。これからも、もっともっと事あるごとに保護者の方々とお話をし、子どもの成長を支援していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

避難訓練実施

5月30日（水）の6校時に避難訓練を実施しました。今回は、地震により、給食室から火災が発生したことを想定しての訓練でした。すべての生徒が教室から校庭東側まで避難しました。事前に各学級において避難経路の確認を行うとともに、次の言葉を意識させて事前指導をしました。

お……押さない
か……駆けない
し……しゃべらない
も……戻らない

結果としては、避難するのに一番時間がかかった学年でも4分かつからずに避難完了し、人員点呼まですることができました。

私は、7年前の東日本大震災の際に、本校の副校長として勤務していたので、震災当時の学校の様子を混じえながら、いつ自然災害が起きるかわからないので、常に災害を想定した生活をする事の大切さを避難訓練の最後に話しました。



総合訪問無事終了

5月23日（水）に市教委主催による4年に一度の総合訪問がありました。内容的には、会計関係だけでなくすべての公文書の監査、授業の様子、生徒の状況把握を行うものでした。9時頃に教育委員会関係の方が30名近くお見えになり、校内を見てまわりました。私の方からは、30分ほど学校の様子及び学校経営方針を説明しました。そして、午後4時から水越教育長より今回の総合訪問における講評をいただきました。諸帳簿については、細かな点での修正点の指導を受けましたが、生徒及び教職員については、健全な学校状態にあるとお褒めの言葉をいただきました。そして、最後に自信・誇り・気概をもって学校生活を送ってほしいという温かな言葉をかけていただきました。



陽東地区四校連絡協議会の開催

6月1日（金）の午後6時30分からホテルマイステイズで開催されました。この会の目的は、陽東地区にある3小学校、1中学校を1つの単位としてとらえ、義務教育9か年を各校PTAが一体となって組織の充実をはかり、関係諸団体と連携し、積極的に問題解決に取り組んでいこうとすることです。4つの学校のPTA執行部、校長、副校長、教務主任が参加し、平成29年度の活動報告、決算報告、平成30年度の活動計画、予算案を話し合いました。



定期テストの考え方・受け方

19日（火）に中間テストが予定されています。2、3年生は、今までに経験したことなので、何をしたら良いかは大体のところはわかっていることかと思いますが、1年生にとっては、初めてのことで、何をどのように勉強したら良いのか全くわからず、不安だらけではないでしょうか？そこで、今回は定期テストを受けるに当たってのテストの考え方・受け方について説明します。

テストが好きだ、1日も早く来れば良いと待っている人は、ほとんどいないのではないかと思います。しかし、なかには、今まで受けたテストの失敗を取り戻すためにしっかり準備して待っている人がいるかもしれません。中学校では、定期テストを年間4回実施します。さらに実力テストや単元末テストも実施します。

テストは、それまでに学習したことがどの程度しっかり身に付いているか、間違っていたらどこに原因があったのだろうかなど状況を把握し、それをどのように改善していったらよいのかを探り出すために行うものだといってよいと思います。間違いを起こした原因として、だいたい次のようなことが考えられます。

○授業中に聞き落としたか

○忘れてしまっていたのか

○単純なミスだったのか

○きちんと復習していなかったのか

○勘違いをしてしまったのか

○記憶違いだったのか

○授業をきちんと受けず、また全然勉強しなかったからなのか
等をあげることができます。



テストを受けるときには、何よりも問題をよく読むことが大切です。そして、問題は何を解答することを求めているのか、それをどのように答えればよいかを慎重に読み取ることが大切です。1回でよくわからなかったらもう1回、さらに2回とわかるまで読む必要があります。そして解答することをきちんと確認して、解答欄に記入するようにしましょう。問題に取り組んでいて、途中でわからなくなることがあります。そういう場合には、そのときまで考えていたことがわかるように、そこまでの考えを消してしまわずそのままにして他の問題に移るようにしましょう。いつまでも一つのことを考えていると、その考えにとらわれすぎて、だんだん深みにはいついて混乱してくることが多いようです。そうすると焦ってしまっかえってわからなくなります。その上時間がかかってくるとなおさらでしょう。人は、別なことを考えているうちに、ふとひらめくこともあるものです。問題を見てできるものから手をつけることが大切です。1分でも早く解答を書き込むと落ち着くものです。

これからテストを受けるに当たっては、授業を大切に、家庭学習にしっかりと取り組むことです。そのうち何とかできるだろうとか塾に行けば何とかできるだろうという安易な考え方ではダメです。受け身の姿勢ではなく、積極的に自分なりの方法を考えテストに臨んでほしいと思います。

- ・「陽東中だより」をはじめ、各種たよりや学校行事等の情報はホームページ「<http://www.ueis.ed.jp/school/yoto-j/>」にてご覧いただけます。
- ・ご感想、ご意見等は、E-mail「yoto-j@ueis.ed.jp」まで、お寄せください。